

三里塚・ジエット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

不協力放棄運動千葉は、かく闘う

日
本
動
力
千
葉

80.6.8
全国版
NO. 55

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
総電二三五八九・公電四三二二七一〇七

『本部』の闘争放棄をのりこえ 反処分、55・10ダイ改】阻止へ

全国の動労組合員のみなさん。わが動労千葉四百名組合員は、五月三十日国鉄当局が強行した八〇春闘に対する大量不当処分に抗議し撤回をめざして、三日間の減産闘争（B行動）を緒戦とする、連日の非協力闘争を展開しています。そして、これからも長期かつ強靱に闘う方針です。今回の不当処分攻撃が「五五・一〇提案」の直後の強行に表わされているごとく、国鉄当局は、三十五万人体制完遂へむけて国労・動労の一層の屈服を強要した反動攻勢であります。とりわけわが動労千葉の三十五万人体制攻撃粉碎と固く結合した三里塚・ジエット闘争の闘う路線が全国的に波及することを恐れた国鉄当局は、春闘処分とあわせて動労「本部」の四・一五を口実とした「動労千葉への弾圧処分哀願」を利用して、春闘処分で唯一動労千葉のみ解雇処分を強行してきたことであります。動労千葉は、このうす汚い国鉄当局・「本部」反動分子一体となつた選別的不当処分を断じて許さず、怒りを込めて粉碎する決意であります。

全国の動労組合員のみなさん。「本部」反動分子の「日黒選挙」を口実とした、反処分、五五・一〇ダイ改阻止闘争の放棄を許さず、われわれとともに生産点からの徹底した闘いをまきおこそうではありませんか。

総武線を軸に連日の大反処分闘争

五・三一不当処分粉碎・反動秋山局長追放第一波闘争は全組合員の怒りの表現と決起を呼びかけるものとして三十一日スローガン列車が千葉管内はもとより、遠く中央本線を縦貫して長野まで走りました。六月二日からの三日間の減産闘争は、権力・当局・右翼反動分子の敵対・挑発をはねのけ総武線を軸に連日三千～四千分の列車遅延と二十本の列車運休を現出しました。三六協定破棄をはじめとする徹底した非協力闘争は、五五・一〇ダイ改の事前準備作業に痛打を浴びせ当局を追い詰めています。

動労「本部」の大反動的役割

こうした動労千葉の不当処分粉碎の断固たる決起に対し「本部」反動分子はいかなる対応をしたのでしょうか。

すでに周知のとおり、「四・一五津田沼スト拠点破壊襲撃」を実行し、それを粉砕されるや、国鉄当局に正式文書をもつて「動労千葉への弾圧処分を哀願し」あまつさえ「四・一五」で国家権力II船橋警察署に出頭しタレコミを行うという天人共に許されざる反労労働者の行為を働いたのであります。

しかも、国鉄当局への処分哀願を自認して、「再建情報」No.27では「免職一名に胸なでおろす中野・中江一派」などと見出しをつけた書を連ら

ねています。さらに「動力車新聞」一三三一号は、「千葉動労の暴力行為に処分」と同じく見出しをつけて「動労千葉の処分が軽い、もっとクビを出してくれ」といわんばかりに心情を吐露しています。

これが戦闘的階級的と称する組合のやることであります。

「本部」の反動的制動をはねのけ反処分、五五・一〇粉碎へ

全国の動労組合員のみなさん。

「本部」反動分子は、反処分と称して僅か半日のそれも減産A行動でお茶を濁し、三十五万人体制合理化の初年度である五五・一〇ダイ改阻止闘争をも「日黒選挙」を口実に放棄しています。

「日黒選挙」一辺倒で、反処分、三十五万人体制粉碎が実現されるとでもいうのでしょうか。

一〇ダイ改阻止へむけ奮闘しようとあります。

しかし、大改革をかちとんか。共に動労大改革をかちとんか。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！